

4. 底生動物調査

図-1.に示したst. 7付近の海草の最繁茂部で底生生物の採集を行なった。採集は、1mm目の標準ふるい(径20cm)を逆さにして海草の葉の上からかぶせ、枠の深さまで海底下に打ちこみ、ふるい内に入った底土、海草を全て取り上げて行なった。ふるい分けは、1mm目を用いた。採集日は、1981年6月18日である。3地点での採集を行ない、それらを合計して1m²当りの個体数と重量を算出し表-10.に示した。表には前年度同時期に採集した底生動物の組成も並記した。多毛類・端脚類の個体数が最も多いという基本的な点は同じであるが、今年度の採集結果の方が採集した動物群が広範囲にわたり、長尾類・短尾類が多かった。また総個体数・総重量の値も大きくなっている。しかし、採集面積が狭く採集地点数も少ないことと、藻場の基本的空間構造や底質組成に重要な海草の分布が均一ではないということから推測される底生生物の生息密度のかたよりの二点を考慮すると単純な比較には無理があろう。

表-10. 底生動物の採集結果

分 類	1980年6月4日		1981年6月18日	
	個体数	重量(g)	個体数	重量(g)
腔腸動物	53.1	3.69		
渦虫類			21.2	2.24
紐形動物			10.6	0.04
線虫類			10.6	—
星虫類	21.2	0.58	10.6	—
多毛類	222.9	6.69	350.3	60.53
貧毛類	63.7	3.33	138.0	1.67
蛭類	21.2	0.46	95.5	1.87
多殻類			10.6	9.23
腹足類	42.5	47.04	42.5	37.81
斧足類	42.5	1.18	21.2	2.19
アミ類			21.2	0.04
タナイス類			21.2	0.06
等脚類			21.2	0.06
端脚類	329.1	0.36	180.5	0.20
長尾類	42.5	0.80	127.4	19.77
異尾類			31.8	0.49
短尾類	10.6	0.12	148.6	23.94
クモヒトデ類	42.5	11.49	21.2	1.45
ウニ類	21.2	2.15		
魚類			10.6	0.21
その他	42.5	0.08	10.6	0.22
合 計	955.5	77.97	1273.9	161.98

数字は1m²当りの値

また、表-11.には刺網漁獲試験と底生動物調査で採集した短尾類を示した。計27種の短尾類が出現したが、その中でトゲイソクズガニ、イッカクガニ、コワタクズガニ、オオヒメオウギガニ、フタハベニツケモドキなどが多く採集された。なお、分類に際しては、酒井恒(1976)・内田要他(1965)を参照した。

表-11. 海草藻場で採集された短尾類

1. キヌゲカムリ	15. ケブカガザミ
2. サガミトゲコブシ	16. ミスジベニツケガニ
3. ソデカラッパ	17. フタハベニツケモドキ
4. コブカラッパ	18. ツブヒラアシオウギガニ
5. モクズショイ	19. スベスベマンジュウガニ
6. クダメツノガニ	20. シワオウギガニ
7. イッカクガニ	21. オウギガニの一種
8. コノハガニの一種	22. オオヒメオウギガニ
9. ワタクズガニ	23. ケブカガニの一種
10. コワタクズガニ	24. イボテガニ科の一種
11. トゲイソクズガニ	25. オウギガニ科の一種
12. ヒシガニ	26. イトアシガニの一種
13. タマヒゲガニ	27. 不 明 種
14. テナガヒメガザミの一種	